



中瀬禎康さん(77歳)



赤い電車に乗りましょう

乗れば楽しい

ザンブザンブ ザンブザンブ

赤い電車応援歌『赤い電車でザンブザンブ』は、平成26年7月に完成しました。作詞をしたのは中瀬禎康さん。26年度に地元総代として応援団に入り、他の団体の活動なども見る中「自分にもできることはないか」と考え、趣味の作詞を生かすことに。「赤い電車は昔から利用しているのわかっていて、書いていたらスムーズに書けた」市の応援団事務局に持ち込むと曲は



名鉄蒲郡駅コンコースで応援歌の完成をお披露目する中瀬さん。現在、ユーチューブやコンコース設置モニター(偶数日)に放送中です。

公募することになり、全国から66作品もの応募が集まりました。なんとと言っても「ザンブザンブ」が印象的。三河湾の波の音と、温泉に入る「ざぶざぶ」をかけ合わせた「ザンブザンブ」は、メロディに乗ってなんとなく口ずさんでしまいます。応援団により選曲されましたが、普段歌う曲は演歌が多い中瀬さんは「自分の曲だけど、カラオケで歌うと自分には難しい」とちよつと寂しげです。

赤い電車のこれからについて「とにかく乗客が増えることが大事。『赤い電車でザンブザンブ』も吹奏楽のイベントなどで絡めて使えればいいと思う」と話してくれました。

### 応援団の取り組み

ていたので、赤い電車がなくならないために自分で出来ることを何かやろうと思った。野仲さん・体の不自由な人、免許を持ってない人などいるので、廃線したらたくさんの方が

### 乗って残そう!

#### 名鉄西尾・蒲郡線

西尾・蒲郡線は、存続すべきとの住民意見がとて多く、特に通学で使う高校生や大学生、高齢者、体の不自由な方などには必要不可欠な生活交通となっています。バスなどと比べても、環境保全や地域発展の観点から、市にとってなくてはならない最適な公共交通であると考えられます。

そのため、市は応援団と一体となって利用促進活動に取り組んでいます。存続のためには、利用者が1人でも増えることが1番大切です。

市民の皆さんも、通勤、通学、お出かけなどには名鉄を利用しましょう。積極的に名鉄を利用し、名鉄西尾・蒲郡線を存続させましょう!



- ・ 蒲郡市、西尾市中高生部活動交流会
- ・ 市ジュニア吹奏楽団、沿線中学校吹奏楽部による駅前コンサート
- ・ 福寿ごりやく市での応援企画
- ・ 蒲郡市、西尾市老人クラブによるウォーキング
- ・ 蒲郡高校、西浦中学校生徒による応援ムービーの作成
- ・ 沿線中学校によるスポーツイベント
- ・ 名鉄沿線おすすめマップ作成
- ・ 温泉旅館の宿泊割引企画
- ・ 竹島水族館・生命の海科学館の入場無料企画